

学校だより

# けいほく

【かわる自分】 ~つづける はじめる~

啓北小学校

3つのやくそく



- 1 あいさつをしましょう
- 2 廊下を正しく歩きましょう
- 3 時刻を守りましょう

令和8年2月12日 第21号

## いのちを守る学習 合言葉は「いかのおすし」です！

2月4日（水）に今年度3回目の避難訓練を行いました。

1回目は、授業中に大きな地震の後に火災が起きた際、担任の指示により避難経路を確認しながらグラウンドに避難しました。

2回目は、休み時間に大きな地震が起きたらと想定しました。あえて緊急放送の時間を知らせずに行いましたが、子ども達はそれぞれ過ごしていた場所から担任が近くにいなくても、放送の指示を聞き自分で判断し、グラウンドに集合することができました。

そして今回は、災害ではなく、もしも不審者が玄関ホールにまで侵入してきた際に、教職員の指示により安全に体育館まで避難する訓練を行いました。

子ども達は各教室で事前指導を受けた後、できるだけ静かに物音を立てずに、玄関ホールを避けながら体育館まで、わずか5分で全校児童が移動することができました。

私からは、①訓練は常に真剣に行う事

②放送や指示など話を落ち着いてよく聞くこと を伝えました。

その後訓練のようすをご覧になっていた 帯広警察署の青木巡査からは、素早く避難できたことについてお褒めの言葉とともに、登下校中などに不審者に遭った時の行動について実演を交えながら教えていただきました。

「いかのおすし」の中でも特に大切なのは、**す**（すぐ逃げる）こと、**お**（大きな声でさけぶ）ことだそうです。登下校中には、こども110番ののぼりのあるお家やお店、それからコンビニやスーパーなどの人が大勢いるところへ逃げるようにしてほしいとのことでした。

全国でも、子どもの狙う痛ましい事件や事故が起きています。出来るだけ友達と一緒に登下校したり、決められた通学路をしっかりと守ったりすることも大事なことです。

改めて保護者や地域のみなさんの見守り活動のおかげで、子ども達は毎日安全に登下校出来ているものだと実感しています。

安全な登下校や放課後の過ごし方については、是非ご家庭においても繰り返しお子様と話しあっていただきたいと思います。

学校としてもこれからも、様々な関係機関と連携しながら危機管理へのアンテナを高くし、災害や事件・事故から子どもたちの命を守る教育を進めていきます。

引き続き保護者や地域の皆様のご理解ご協力をよろしくお願います。



よい子のやくそく

**イカのおすし** おぼえてね!

**イカ** 知らない人について **イカない!**

**の** 知らない人の車に **のらない!**

**お** おおきな声でさけぶ!

**す** **すぐ** にげる!

**し** 家の人や先生に **しらせる!**

## 第3回 CS 学校運営協議会

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を開催しました。今年度の様々な行事での子ども達のようなすや各団体の状況についての交流や、私からは令和8年度の学校経営方針の方向性をご説明し、委員の皆様よりご理解・ご承認をいただきました。

熟議では「町内会やご近所つきあいの変化など、地域のつながりの持ち方の難しさ」「昔のように気軽に声をかけづらくなった」など改めて大人、子どもを問わず対話や直接のコミュニケーションの大切さについて話題になりました。

また、「先生方の変革さについてもっと率直にきかせてほしい」「まだ地域が力になれる人材や内容があるのでは」等今後のコミュニティ・スクールの方向性の鍵となる貴重なご意見をいただきました。



## 学校評価、 お済みでしょうか？

現在、2回目の学校評価アンケートを全保護者の皆様にお願ひしております。お忙しい中とは存じますが、是非学校への要望やお子様のようなすについての率直なご意見をお聞かせ下さい。

また、1回目の結果と分析については学校HPに掲載しましたのでどうぞご覧ください。よろしくおねがいします。

わかる自分！

## けいほくっ子 みんなが主役！



「けいほくっ子 みんなが主役！」では、様々な分野での活躍や、努力を続けているみなさんをご紹介するコーナーです。各種スポーツ、音楽や書道、語学などの芸術分野、クラブチームや習い事……自薦・他薦は問いません。

ドリームタイムやお昼休み、校長室に報告にきてくださいね。



☆帯広市児童スケート選手権大会  
4年生男子 **総合第1位**  
4年 眞田 一志 さん



☆帯広市児童スケート選手権大会  
5年生男子 **総合第1位**  
5年 神谷 朔久 さん



☆帯広市児童スケート選手権大会  
3年生女子 **総合第2位**  
3年 神谷 きづくさん



☆サイロ2月号に掲載  
6年 谷口 直哉 さん

母に感謝

誕生日に  
ありがとうという言葉を知っていて 良かった  
ありがとうという言葉をもっていて 良かったと思う

あの日 ぼくは命の危機を乗り越えて  
無事に生まれた

全力でぼくを生んでくれた  
母ちゃんに  
無限大の感謝だ

これからも  
大地をふみしめ  
ぼくはぐんぐん  
育ってみせる

「サイロ」へは、校長室からも応募できます。みなさんの様々な心の表現を投稿してみませんか。待ってます！